

(お知らせ)

日米防衛相会談の概要

令和6年7月29日
防 衛 省

令和6年7月29日13時15分から約50分間、木原防衛大臣とオースティン米国防長官は、防衛省において防衛相会談を行ったところ、概要次のとおり。

1 日米防衛協力

両閣僚は、日米「2+2」を踏まえ、日米協力の下での反撃能力の効果的な運用を含め、同盟の役割及び任務を進化させる作業を今後も加速させることを確認した。両閣僚は、日米の指揮・統制枠組の向上について、今後も2国間の調整要領や連携強化について議論していくことを確認した。両閣僚は、南西地域における日米の共同プレゼンスを着実に拡大していく重要性について改めて一致した。

2 米軍再編/在日米軍

両閣僚は、日本に配備されている米国の戦術戦闘機の更新について、引き続き緊密に連携していくことを確認した。

両閣僚は、抑止力を維持・強化し、地元への影響を軽減するため、米軍再編計画を着実に進展させていくことで一致した。また、普天間飛行場の可能な限り早期の全面返還に向け、辺野古における普天間飛行場代替施設の建設を含む、二国間の取組を加速させていくことを確認した。

さらに、両閣僚は、在日米軍の安定的な駐留と日々の活動には、地域社会の協力が重要であることで一致し、地元との強固な関係を後押しすることを含め引き続き連携していくことを確認した。

(了)